

男たち (1950)

THE MEN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 85分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

赤狩りで最も大勢の同朋を“売った”ことで知られる「真昼の決闘」の脚本家フォアマンが原作も手がけた、真摯な戦後秘話—といった作品で、ブランドが銀幕デビューを飾った、S・クレイマー製作の真面目な映画である。戦場で被弾し、下半身不随で帰国した銀星賞の英雄、中尉ケンは、同じような患者を收容する施設に入り、最初、絶望から全くみなと打ち解けないが、やがて、恋人エレン（ライト）の励ましで苛酷なりハビリに挑み、車椅子生活に入る。そして、性的な心配を抱えて彼女と結婚するのだが、やはり、自分を憐れみの目で見えるエレンが耐えきれず、自暴自棄となり施設に戻る。が、担当医師ブロックに強く諭され、自身の運転で彼女のもとへ帰っていく。過去に同じ症状の妻を治療法の不備で亡くしているブロック（E・スローン）をはじめ、主人公のリハビリのパートナーになる陽気なヒスパニックのエンジェル（後遺症で死ぬ）、詩や小説の一節をいつもそらんじるインテリの大尉ノーム（悪い女に騙されてしまう）等、脇の人物の描写を的確に重ね作品に厚みを持たせる、ソリッドなジンネマン演出は地味ながらさすがで、脊髄損傷兵という大戦自体の古傷を冷静に直視している。若々しいブランドは思いの外素直な演技で、性的不能というデリケートな部分の表現にもうまく対処してみせた。

【クレジット】

| | | |
|----|-------------|------------------|
| 監督 | フレッド・ジンネマン | Fred Zinnemann |
| 製作 | スタンリー・クレイマー | Stanley Kramer |
| 原作 | カール・フォアマン | Carl Foreman |
| 脚本 | カール・フォアマン | Carl Foreman |
| 撮影 | ロバート・デ・グラス | Robert De Grasse |
| 出演 | マーロン・ブランド | Marlon Brando |
| | テレサ・ライト | Teresa Wright |
| | ジャック・ウェッブ | Jack Webb |
| | エヴェレット・スローン | Everett Sloane |